学校番号	1203

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	実用数学Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習プリントを使用して、数学検定の５級、４級、３級の問題を学習します。

・授業の学習プリントはファイルにはファイルに綴じておき、定期的に提出してもらいます。

・分からない問題は先生に質問しましょう。

2　学習の到達目標

実生活において数学的な見方・考え方で物事を捉える機会が増やすことで、実生活におけるさまざまなことに対応する数学的な能力・判断力を身につける。

【知識及び技能】

・実用的な物事について数学における基本的・発展的な概念や原理・原則を理解するとともに、事象を数学的に解釈することで、数学的な計算やグラフ・表などで処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

・実用的な物事について、数学を活用して論理的に考察する力、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・実用的な物事に対して積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的な論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実生活で起こるさまざまな事象について数学における基本的な概念や原理・原則を理解するとともに、数学的に解釈し、表現・処理したりする技能を身に付ける。	・実生活で起こる事象について数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的に考察する力、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	・数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしたりする姿勢を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	中学校１年生程度（５級）	**正の数・負の数を含む四則混合計算、一元一次方程式、扇形の弧の長さと面積、空間における直線や平面の位置関係、柱体・錐体及び球の表面積と体積、空間図形の構成、度数分布表とヒストグラム、**	a:身近な生活に役立つ算数技術を身につけ、問題を解くことができる。 b:実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 c: ルールを理解し、計算しようとしている。実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現しようとしている。	小テスト 定期テスト	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 小テスト 定期テスト	観察 振り返りシート

2学期	中学校2年生程度（4級）	文字式を用いた簡単な式の四則混合計算、平行線の性質、四角形の性質、簡単な統計など	a:社会で生活するために役立つ基礎的な数学技術を身につけ、問題を解くことができる。 b:実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 c: ルールを理解し、計算しようとしている。実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現しようとしている。	小テスト 定期テスト	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 小テスト 定期テスト	観察 振り返りシート
3学期	中学校3年生程度（3級）	平方根、式の展開と因数分解、二次方程式、三平方の定理、円の性質、相似比、面積比、体積比、簡単な二次関数、簡単な統計など	a:社会で主体的かつ合理的に行動するためにやくだつ基礎的な数学技術を身につけ、問題を解くことができる。 b:実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 c: ルールを理解し、計算しようとしている。実生活で起こる事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現しようとしている。	小テスト 定期テスト	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題 小テスト 定期テスト	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度